

令和 4 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）

分担研究報告書

相談支援専門員とサービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者の連携に関する  
評価ツールの開発のための研究

「連携評価ツール活用マニュアルの検討」

研究分担者 大久保 薫 札幌学院大学

#### 研究要旨

相談支援専門員とサービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者における連携について、開発した連携評価シートの活用を促進していくための「活用マニュアル」について、その活用を効果的に進めるための掲載内容を整理することを目的とした。活用マニュアル案について会議及び委員会形式で意見交換・情報収集を行い、明らかとなった内容をもとにマニュアルに反映することで、効果的に活用可能なマニュアルへつなげることができた。

#### A. 研究目的

本研究では、開発した相談支援専門員とサービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者（以下サビ児管）における連携評価シートについてその活用を効果的に進めるための活用マニュアル記載内容を整理することを目的とした。

なお、研究では、連携評価シート（Excel ファイル）と、活用マニュアル（本取り組み）からなる「連携評価ツール」の開発を進めた。

任者による検討委員会（9 名）を組成し、作成した活用マニュアル案について、専門的知見から情報収集をこないマニュアルに反映させた。

（倫理面への配慮）

本研究は、北海道医療大学看護福祉学部・看護福祉学研究科倫理審査委員会による審査の上、承認を得て実施した。（21N020020、21N028027）

#### B. 研究方法

これまでに開発された連携評価シートをもとに、マニュアルへの記載内容として、シートの入力方法のほか、記載すべき項目の検討、活用事例の検討を究組織会議及び検討委員会形式の意見交換から進めた。委員会は国内で活躍している相談支援専門員、サービス管理責任者、児童発達支援管理責

#### C. 研究結果

活用マニュアルについて、研究組織の会議にて検討し原案を作成した。大項目としては、「使用に関する留意点」「1. 連携評価ツールの背景とねらい」「2. 連携評価ツールの説明」「3. 連携評価シートの記入方法」「4. 入力した内容の読み取りについて」「5. 活用方法」となった。活用マニュアルの原案に対して検討委員会の実施から意見

交換を行った結果、記載内容への反映が行われた。主な反映点の1つとして、「使用に関する留意点」が挙げられた。内容として、点数そのものだけで良し悪しを決めるものではない点を追加した。本ツールのねらいとしては、連携状況の「見える化」から客観的にとらえ支援の質の向上を目指しており、ツール活用を通じた自己理解を一つの視点として整理した。また、「5. 活用方法」について、活用例の追加や、その他の活用例としてセルフスーパービジョンの視点、地域連携の現状確認、また他者との共有が可能であればお互いの認識を確認することなど、柔軟な活用が可能な視点を追記した。その他、活用マニュアルについて実践的専門的知見から情報を収集することができた。

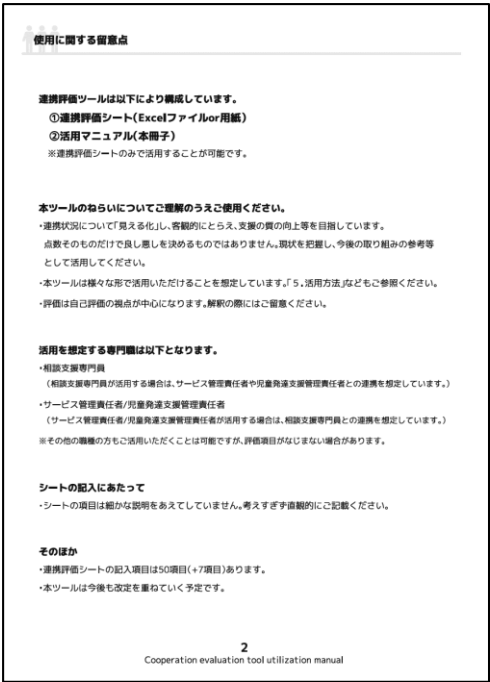


図1 追記したマニュアル例①

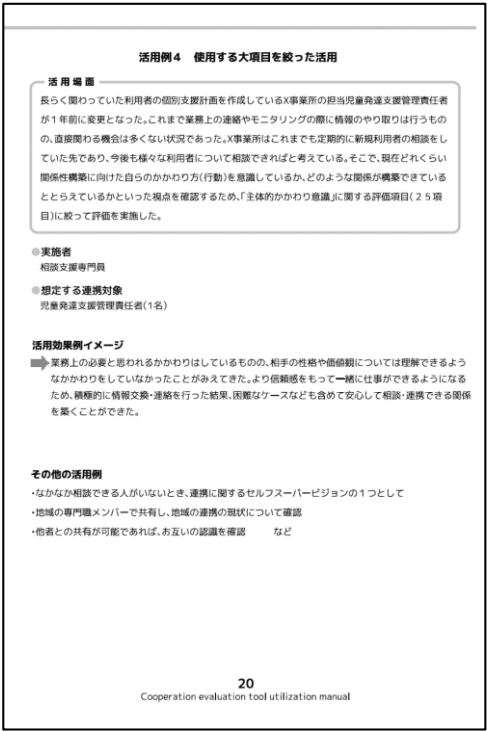


図2 追記したマニュアル例②

D. 考察

マニュアルは、初めて目にした人でも理解しやすいように作成をすすめることができた。今回開発を進めた連携評価ツールは柔軟な活用が可能となるように想定しており、マニュアルに内容も細かくなりすぎないように配慮している。一方で実践現場の中で効果的に活用を進めていくためには適切な情報量が必要でもある。そのような点も踏まえ、継続してマニュアルの記載内容を検討していくことも必要であると考えます。

E. 結論

本研究では開発した連携評価シートの活用を促進していくための「活用マニュアル」について、その活用を効果的に進めるための掲載内容を整理することを目的とした。今回、実践家の視点から活用について意見

交換・情報収集を行い、マニュアルに反映することができた。今後も継続し、ツールの普及とともに効果的で、活用しやすいものとなるよう継続した取り組みが求められる。

F. 健康危険情報

特記事項なし

G. 研究発表

特記事項なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

特記事項なし